

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	札幌南三条西五丁目計画	階数	地上13F、地下1F
建設地	札幌市中央区南三条西五丁目16-1,18-2,19-2,20-3,23,24,38	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	430人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	飲食店、ホテル、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年11月 予定	評価の実施日	2016年8月5日
敷地面積	819㎡	作成者	
建築面積	653㎡	確認日	2016年8月5日
延床面積	7,174㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街沿いの市街地に建つホテルの計画</li> </ul>	<p><b>A 省エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・客室開口部にはペアガラスを採用し、外皮性能に配慮している</li> </ul>	
<p><b>B 省資源等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・断熱材として用いる吹付けウレタン材について、ノンフロン品を用いている</li> </ul>	<p><b>C 緑化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・狭あいでの開口の狭い敷地条件のため、植栽の計画は無しとしている</li> </ul>	<p><b>D 雪処理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南面道路側は、一部をピロティ空間とし、メインエントランスのアプローチに対して降雪の影響を軽減できるよう配慮している。北側についても、アーケードとの隙間をふさぎ、雪・風にさらされにくいアプローチとした</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される